

## これまでの取組の成果と東京2020大会のレガシー

都は、東京2020大会を契機として、観光産業の更なる活性化につなげていくため、東京を訪れる国内外の旅行者が安心かつ快適に観光を楽しめるよう、多言語対応やバリアフリー化を強化するなど、旅行者の移動・滞在を支える基盤を都内全域で整備してきました。

その結果、「外国人旅行者の受入環境整備方針（2014年12月）」で定めた外国人旅行者が多く訪れる10地域においては、徒歩2～3分圏内で観光情報にアクセスできる環境を実現しました。

また、多摩・島しょ地域を含めた都内各地域の多彩な魅力を生かした観光振興を推進するため、地域の観光資源の開発・磨き上げに取り組むとともに、東京と日本各地の魅力を効果的に国内外へ発信してきました。

### 【取組と成果の例】

東京観光情報センターの運営



世界自然遺産共同ウェブサイトでの発信



観光ボランティアの育成



バリアフリー対応の客室



TOKYO FREE Wi-Fiの整備



都は、東京2020大会に向けた取組を都市のレガシーへと発展させ、世界中のあらゆる人々を魅了する観光都市へと進化させていきます。